

# 新しい目黒区政をつくる会

2023 December

12



MEGURO

## 新しい目黒区政をつくる会とは

目黒区の発展と区民生活の向上を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とした有志で立ち上げたグループです。これからの目黒区を、新しい目黒区政をつくる会と共に考えてみませんか？興味のある方はお気軽にご連絡ください。ご意見、ご感想もお待ちしております！



目黒区総合庁舎

■編集・発行元 新しい目黒区政をつくる会  
〒153-0053 目黒区五本木1-15-17

## 2023年12月4日 伊藤ゆう都議が記者会見を行いました!



会見中の伊藤都議

誇りを持てる目黒区にするため、区民の皆様と共に走り続ける決意を表明した伊藤ゆう都議。

政治団体「新しい目黒区政をつくる会」は、伊藤都議の基本政策とこれまでの実績を評価し、推薦を決定しました!

伊藤都議の決意(抜粋)

## 新時代へ「20年ぶりの新風でありたい」 今、目黒が変わるとき。

### 日本全国を変えるモデル都市に変革したい!

目黒区には発信力のある多彩な人材が暮らしています。例えば、教育、子育て、介護でも、目黒区独自の政策を打ち出せば、全国に広がり、日本を一気に変える潜在力を秘めています。しかし、残念ながら、**目黒区モデルとして全国に知られる政策は20年間見受けられませんでした。理想とする社会像をトップが明確に描き、示し、実現すれば、目黒区はもっといい街になると確信しています。**

### 都議の限界! つくった予算が使われない!

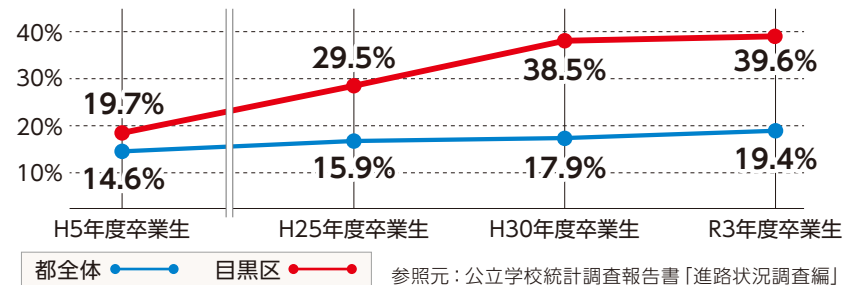
塾に頼らなくても希望の進学ができる社会を目指し、**私は東京都議会議員として、小中学校に「放課後教室」をつくる予算を都から獲得しました。妊娠から子育てまで切れ目のない支援をする「産前・産後サポート」の予算も、「子どもの居場所づくり」の予算も獲得しました。ところが、目黒区の活用実績はゼロです。どんなに東京都で理想的な予算をつくっても、目黒区が決断しない限り、皆様のお役に立てないジレンマを抱えてきました。それが私の決断の理由の一つです。**

目黒区は何をするにも、23区の様子を見ながら政策決定することで知られ、いつの間にか「13番目の区」と言われるようになりました。そして、出生率は23区ワースト2位レベルの「0.96」ま

で落ち込み、目黒区の小学生の私立中学校への進学率は**39.6%**、23区でも1位レベルです。この20年間で公立中学校が3校も廃校となるほど中学受験が進み、小学生の塾通いが当たり前になりました。

**失われたのは、子どもの遊ぶ時間、家族と旅する時間、親が自由に使えるお金です。介護の受け皿不足も深刻化しており、目黒区には様子見を決め込む時間はありません。**

### ●小学校卒業者 都内私立学校への進学率の推移 H5、H25、H30、R3



### 20年ぶりの新風でありたい!

アメリカ大統領が3人代わった20年間、変わることがなかった長期区政で、**目黒区役所には「ことなかれ主義」の空気が立ち込めています。果敢に挑戦する区、未来からの要請に応えられる区へと変えていきましょう。私は、20年ぶりの新風でありたい、未来からの風でありたい**と思っています。

# 目黒区の課題に迫る!

## ✓ 私立中学校への進学率39.6%の目黒区!

全ての公立中学校に「放課後教室」設置で、公教育への不安払拭へ。



私立中学校への進学率の都内平均が19.4%に対し、目黒区は39.6%と倍以上、**都内1位レベルの私立志向は、公教育への不安が原因**だと考えられます。伊藤都議は「放課後教室」の予算を都に準備させました。目黒区でこの予算を活用し、

**すべての学校に「放課後教室」を設置、大学生や塾講師などの協力を得ながら、塾の機能を学校に取り込んでいきます。**また現在、目黒区にゼロのコミュニティスクールを展開し、**地域の力を借りた公立中学校の底上げ**を行います。

## ✓ 「できる」公園づくりにはパークミーティングが必要!

人にも犬にも快適な公園利用のルールを決めるパークミーティングを設置します。



目黒区内の公園にはそれぞれ禁止事項があります。一方で、**キャッチボールや犬の公園利用など「できる規定」が少なく、「できる」公園が少ない**との指摘もあります。**公園ごとにパークミーティングを設定し、地域**

**の関係者で人にも犬にも快適な公園利用のルールを丁寧に設定できる仕組みをつくり**ます。林試の森公園には、**犬も一緒に利用できる「カフェ」の設置**を進めます。

## ✓ 出生率0.96は23区でワースト2位レベルの低さ!

オムツ補助券の創設など、妊娠から出産、子育てまで一貫したサポート体制をつくれます。

お隣の世田谷区に比べても圧倒的に少ないのが目黒区の出産、子育てメニューです。例えば、出産後に負担となるオムツ代の支援として**18ヶ月分(月額2,400円)のオムツ補助券**を給付する仕組みをつくれます。**0歳から2歳になる多胎児を養育する家庭には、タクシー移動や家事育児支援に利用できるオンラインギフト(1世帯につき1万円分)を新たに配布**します。また、助産師さんとの連携によるカウンセリングなどを新たに設けることで、出産前から妊産婦さんの不安とストレスを減らしていきます。



## ✓ 避難所の電源が足りない! 公共施設に太陽光パネルの設置を

地震から命からがら避難所にたどり着いたら何をしたいでしょうか。家族と連絡、友人の安否確認そして災害情報の収集ではないでしょうか?

でもその時、**避難所に電源があるとは限りません**。停電で、体育館は凍える寒さかもしれません。そのような時に、もしも小中学校の体育館の屋上に太陽光パネルがあったらどうでしょうか。最低でも携帯の充電ができる、多少、ヒーターの蓄電ができるかもしれません。

しかし、目黒区の**小中学校の体育館の屋上に太陽光パネルが設置されているのは3箇所**だけです。しかも**非常用電源として使える設計になっているのか区に確認したところ、調査しないと分からない**そうです。



すでに、区が学校の屋上に太陽光パネルを設置する場合、費用の4分の3を国と都が出してくれる仕組みがありますので、これらを活用して**太陽光パネルを設置するべき**です。

機関紙

新しい  
目黒区政  
をつくる会  
12  
2023 December

伊藤都議の  
活動発信中!

@yuuito1202

@itoyuu1202

@itoyuu1976

各SNSを  
Check!



紹介動画  
配信!

伊藤都議を「もっと知りたい」方はこちらへ!

LINE 公式アカウント



ぜひご登録ください!!

伊藤都議の  
プロフィールや  
基本政策に興味がある方は  
ぜひアクセスを



itoyuu.tokyo

伊藤ゆう 検索